

講義名	対)ソーシャルワーク総論			
担当教員	加藤 曜子			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要				
<p>社会福祉士国家資格取得のための必須科目であり、将来福祉関係、対人援助の就職を希望する人にとっては受講しておくべき科目となります。</p> <p>生活困難な状況にかかわる対象者にどのような生活課題を持つのかを整理し、個別に対応するためには、その背景や状況を把握し働きだしていく必要がでできます。目指すところは、1. 社会福祉士の役割と意義を理解する。相談援助の概念と範囲を理解する。ソーシャルワークの形成過程を理解する。相談援助の理念を理解する。</p>				

到達目標				
<p>ソーシャルワークは、あらゆる生活に場面で活躍できる仕事です。</p> <p>生活困難な状況にかかわる対象者にどのような生活課題を持つのかを整理し、個別に対応するためには、その背景や状況を把握し働きだしていく必要がでできます。目指すところは、1. 社会福祉士の役割と意義を理解する。相談援助の概念と範囲を理解する。ソーシャルワークの形成過程を理解する。相談援助の理念を理解する。</p> <p>相談所、司法分野などについて関心を高めること、4. 社会福祉ニーズをかかえた人々をソーシャルワーク（相談援助）の際の専門的な視点や留意事項、方法などを説明できる。その理念と役割について深く理解をする を目指します。</p>				
提出課題				
<p>課題はその都度、メールにて提出してもらいます。</p> <p>最終回は、1600字でのレポートを提出してもらいます。レポート登録をみておいてください</p>				

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
<p>対面授業では、授業中に提出させ次回にフィードバックを行います。また小テストをします。</p> <p>オンデマンドの場合は、毎回の授業課題は、その何回目かというものを明記したうえで、名前、学籍番号を記し、</p> <p>次回の授業の前日まで提出してください。https://cnj.unds.ac.jp/campusweb</p> <p>授業資料にて、フィードバックしていきます。</p>				

評価の基準				
<p>対面授業においては、出席回数、および授業態度が重要です。5回以上の欠席は認めません。</p> <p>毎回の課題で差えた内容について、評価します。中間テストを予定します。</p> <p>また最終レポートについても評価します。</p>				

履修にあたっての注意・助言他				
<p>履修にあたっては、連続した授業内容なので、欠席することなく受講することです。なお、場合に応じて学生同士のディスカッションも予定します。</p>				

教科書				
.教科書使用しない。				

プリント資料及び参考文献				
<p>資料を準備します。 なおオンデマンドの場合には、以下にアクセスすること</p> <p>添付資料をRYUKA Portalにアクセスしダウンロードしてください。</p> <p>https://cnj.unds.ac.jp/campusweb</p> <p>(参考文献) 新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基礎と専門職 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規</p> <p>その他授業で、読み本を紹介する予定</p>				

授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1.社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義ーソーシャルワークの概要 2.現代社会と地位い社会ー福祉問題とソーシャルワーク(対人援助、グループワーク、) 3.ソーシャルワーク、相談援助の概念 4.ソーシャルワークの構成要素を理解する 5.相談援助の理念 ソーシャルワークの価値 6.相談援助の理念 権利擁護、利用者自己決定 7.相談援助の理念 エンパワメント、自立 8.相談援助の理念 ノーマリゼーション 9.専門職の倫理 ジレンマ 10.専門職の倫理 倫理綱領 11. ソーシャルワークの形成過程 12. ソーシャルワークの形成過程 13. ソーシャルワークの形成過程 14. ソーシャルワークの形成過程 15. 総括 <p style="text-align: right;">* オンデマンドにおいても同様の計画します。</p>				

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）			
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク			
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク			
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>予習については、シラバスにおいて書かれているテーマについて、そのキーワードについて自分りに調べる作業を2 時間とする。</p> <p>復習では、授業の資料については、よく読み込み、2時間かける。</p> <p>なお、最終レポートについても時間外での8時間を費やし、書いてもらうことになります。</p>				

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>・健康マネジメントコース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康・スポーツ・食文化・福祉を中心とした学習により、「健康」をキーワードとする関連専業分野、薬種の運営管理・経営能力を身につけている。 2. 健康・スポーツ志向、食の安全、介護予防などについてその社会的背景と今後の課題と対応策について分析、企画する能力を身につけている。 ・スポーツ健康コース 1. 地域貢献活動を通して、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を身につけている。 2. 見る者を引きつけるエンターテインメント能力やプレゼンテーション能力を身につけている。 				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
資料、課題からのフィードバックを試みます				

実務経験の有無及び活用				
実務経験あり。司法ソーシャルワーク経験及び、実務へのスーパービジョンを実際の福祉の現場で行っているため、活用できる				
備考				
来るAI時代に向けても、対人援助は基本必要となり続けるものである。よって将来自分の進む道を考える場合の指針になりうる価値や、倫理、方法論を取り上げるため身につくものと期待されます。				